

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第7期第9回相模原市中央区区民会議小委員会（グループ2）		
事務局 (担当課)		中央区役所区政策課 電話042-769-9802（直通）		
開催日時		令和6年2月26日（月） 10時25分～11時05分		
開催場所		相模原市民会館 2階 第2大会議室		
出席者	委員	6人（別紙のとおり）		
	その他	0人		
	事務局	2人（区政策課職員2人）		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 議題 （1）第7期中央区区民会議重点行動について （2）都市型自走式ロープウェイ「Zippar」について		
会議結果概要		事務局作成の提言書案を一部修正で承認し、全体会で諮ることとした。		

主な内容は次のとおり。

開 会

事務局から、運営に係る事務説明を行った。

—傍聴希望者 なし—

1 議題

(1) 提言書案について

(事務局)

前回の区民会議の全体会で、提言先を自治会から、各地区のまちづくり会議に修正してはどうかという意見があった。この意見を受け、事務局にて、市の移動支援を所管している地域包括ケア推進課やまちづくり会議を所管している中央6地区まちづくりセンターなどと調整した。その結果、地域資源を活用した移動支援は、各地区によって実情が様々であり、既にまちづくり会議や地域ケア会議で移動支援を検討している地区もあるとのことであった。また、この提言書の主旨としては、地域が主体となって進めていくことが共助の目指す姿であり、まずは各地区自治会連合会及び単位自治会が、移動支援について考えてもらい、その上で、移動支援に関する様々な制度を知ってもらうことであると認識している。したがって、まちづくり会議への提言ではなく、地域の主体となっている自治会への情報提供が必要であることから、前回示したとおり、相模原市自治会連合会に提言を行い、各地区自治会連合会及び単位自治会へ検討を促してもらう内容としている。

また、市の自治会連合会に働きかけをお願いするをはっきりさせるため、提言書の「1 相模原市自治会連合会に対する提言」の中に、「相模原市自治会連合会から」という文言を追加した。

同様の考え方で、「2 相模原市に対する提言」においても、「地域の移動資源を検討する団体」との記載から「相模原市から各地区自治会連合会及び単位自治会並びに各地区まちづくり会議等」と修正した。これにより、「1の相模原市自治会連合会に対する提言」を受け、各地区自治会連合会や単位自治会が移動支援の事業を検討しようとした際、相模原市から、必要な支援などをしてもらえという流れを明確にした。

なお、これらの修正については、事務局から事前に前回の全体会で意見をいただいた坂本委員及び飯島会長に説明し、理解していただいている。

最後に、先行事例として光が丘地区の「買い物お助け隊」について、前回示した案では具体名で記載していた。しかし、光が丘地区が主体で実施しているように捉えられてしまうとの意見があった。実際には、「地域づくり部会」（地域ケア会議の下部組織）が実施しており、移動支援に使用する車両については、現在、相模福祉村の協力を受けている。あくまでも先行事例の例示であることから、誤解を避けるため、具体的な地区名ではなく「中央区内」とし、事業名を「取組」と修正しました。

(小林委員)

地域資源を活用するということは、地域が主体となっていくことだと思うが、今まで市のサポートがあまり感じられない。

⇒この提言においては、そういう意見も考慮して相模原市自治会連合会だけでなく、市へも提言することとしている。全体会で報告された広報さがみはらの提言書手交報告の中で、郷司SDGs・シビックプライド推進担当部長から「提言されると市としても動きやすい」と発言があったことが報告された。移動支援についても、提言することで、市がこれまで以上に取り組むものと期待している。また、相模原市自治会連合会の竹田会長にも提言書案を確認いただき、了解を得ている。(事務局)

(小林委員)

相模原市として、必要なインフラ整備、例えば、Zipparのような新しい移動手段については、前向きに検討したほうがよいのではないかと。自治会でも担い手不足が深刻で、高齢

化が進んでいることも考慮しなければならない。

(田所委員)

自治会に加入していない人にも知らせる方法を考えることも必要ではないか。

(末永委員)

先行事例として光が丘地区という記載を「中央区内」とするなら、スーパーへの送迎だけでなく、スーパーの移動販売車が地域に来ていることも記載したほうがよいのではないか。

⇒追記する方向で検討したい。(事務局)

※全体会の中で追記しないこととなった。

(中村委員)

地域で活動している商業者に配慮し、商業施設等もしくはスーパー等と記載して欲しい。

⇒商業施設等もしくはスーパー等と記載する方向で検討したい。(事務局)

※全体会の中で「商業施設等」と修正することとなった。

(事務局)

指摘のあった2点を修正し、全体会へ提出したい。

(2) 都市型自走式ロープウェイ「Zippar」について

事務局より、配布資料に基づき、都市型自走式ロープウェイ「Zippar」についての情報提供を行った。

(小林委員)

現状の道路に建設することができる新しい交通システムである。鉄道などと比較して、建設費を抑えることができ、かつ、建設期間が短時間で導入できるという利点があり、神奈川県知事が視察し、期待感を示したとのことである。上溝地区でも、この企業を招き、市議会議員を含めた勉強会を開催した。区民会議の提言として取り組むものではないかもしれないが、市でも導入を検討していただきたい。

以 上

第7期第9回相模原市中央区区民会議小委員会（グループ2） 委員出欠席名簿

No.	氏 名	所 属 等	出欠席
1	入 谷 利 郎	小山地区まちづくり会議	出席
2	桑 水 流 良 光	相模原市民生委員児童委員協議会	出席
3	小 林 充 明	上溝地区まちづくり会議	出席
4	末 永 暁 子	横山地区まちづくり会議	出席
5	鈴 木 泰 信	中央地区まちづくり会議	欠席
6	田 所 豊	相模原交通安全協会	出席
7	中 村 太 郎	相模原商工会議所	出席
8	水 谷 好 男	公益社団法人相模原市観光協会	欠席
9	横 山 志 穂	公募委員	欠席

（氏名50音順、敬称略）